

緊急事態宣言の重み

市長 明智 忠直



去年4月7日安倍総理から、新型コロナウイルス感染拡大防止のための特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されました。私たちににとって初めて聞く言葉であり、国の非常事態と改めて感じる重い宣言であります。見えない敵との戦いを、国民が一致団結して撲滅していく大きな一歩になればと思います。内容はあくまで要請・協力ということでありますが「不要不急の外出を控える」「密集・密接・密閉を避ける」「外出を8割・出勤を7割削減する」ことで、感染リスクを下げる行動を呼びかけるものであります。国では、国民の生活支援のための給付金や、経済対策としての中小企業経営に対する助成といった、さまざまな支援が予定されております。何よりも早くそうした支援が国民に届くことを切望するものであります。

旭市でも4月16日現在で12名の感染が確認され、感染経路の不明な方

もおり予断を許さない状況です。専門家の知見では新型インフルエンザなどより、感染率や致死率が高く、陽性患者の2割程度が重症化するといわれております。また、発症までの潜伏期間は1〜2週間ということであり、知らないうちに感染し、他人にうつしてしまうことも多いようです。このウイルスは飛沫や接触による感染が主であり、濃厚接触者を追跡調査し、速やかに検査を受けていただくことが感染拡大の防止にとって効果的であります。日本のPCR検査は、保健所や医療機関などで行うことですが、もっと早く多くの検査を実施し、国民一人一人に安全と安心感をもっていただくことが重要であると思います。

私たち一人一人の行動が、大切な人の命を守るにつながります。ここの一番、感染拡大防止のために日本人の底力を発揮していきたいと思えます。